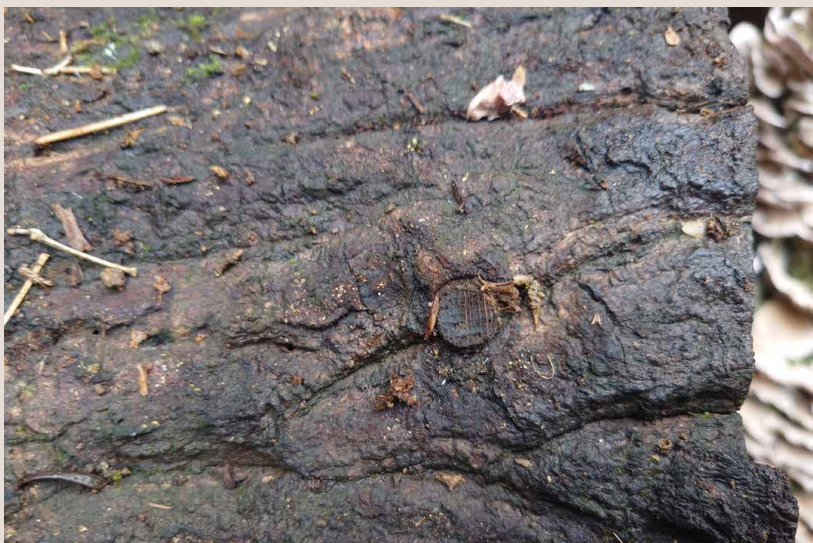


大久野通信 vol.25

里山の魅力



過酷な夏が終わり、活動拠点は秋の虫が静かに囁く様になりました。四季が無くなりつつある日本ですが、里山には確実に秋が訪れています。猛暑の頃によく耳にした気候変動問題も余り聞かなくなりましたが、地球の温暖化は確実に進んでいます。来年の夏も猛暑に苦しむのでしょうか。扇風機だけで過ごせた嘗ての夏は、もう戻ってこないのでしょうか・・・。

INDEX

- ・里山の魅力とは
- ・竹炭で地球を冷やす
- ・今後の展望

里山の魅力とは

猛暑と干ばつで畑の作物が散々だった今年の夏、杉の木陰では適度な湿度が保たれていたこともありミウガが大繁殖です。コンクリートに覆われた都会とは異なり、里山には多様な環境があります。こうした懐の深さが里山の魅力であり、この恵まれた環境を活かさない手はありません。地元の方々にご指導いただきながら、キノコの栽培に挑戦することになりました。山の檜雑木を伐採してほだ木にして、シイタケ、マイタケ、キクラゲのコマを打ち込み、杉の間伐材でほだ場を作って一定間隔で並べる、一連の作業を学びました。果たして、新たな山の恩恵が得られるようになるのでしょうか、来春が楽しみです。



大繁殖のミウガ



完成したきのご園

竹炭で地球を冷やす

大久野倶楽部では、様々な機会を利用してバイオ炭（竹炭由来）の普及活動を行っております。7月下旬にインテックス大阪で開催された下水道展’25に出展した際は、「地球を救う園芸キット」を配布して好評を得ました。猛暑が和らいだ9月下旬、活動を通じて知り合った方々や、取引先に声を掛けて開催したイベントでもプレゼンを実施。幅広い年齢層に向けて、活動内容を説明し、園芸キットも配布しました。今後も様々な機会を利用して、バイオ炭の普及活動を行っていきます。



プレゼンの様子



未来を担う子供たちにも

イベントでは、ピザ窯でピザを焼き、皆で持ち寄った料理を並べ、バーベキューも堪能しました。肉は捕獲したイノシシ、野菜は実証畑からと、基本的に里山の恵みを活用しました。



イノシシ肉を堪能



ピザ窯で本格ピザ

今後の展望

竹炭は、有機肥料のRBSゴールドに不足しているカリ成分を多く含みます。両者を合わせることで、理論上は肥料の三大要素である窒素・リン・カリ成分のバランスが取れることになります。果たしてそれが効果を発揮するのか、大根、白菜、ニンニクといった冬野菜でも実証を試みます。既に、サツマイモで実証を先行させており、苦節3年の今年は害獣被害も受けずにここまで来ています。肥料の効果は、作物の種類や季節によって異なると考えており、大久野倶楽部ではRBSゴールドを使っていただく方々向けに、様々な情報を提供できるように活動を続けて行きます。